

〔倭訓栞前編二〕あさつて 明後日をいふ、あす去て後の日といふ義也といへり、されど西土には、

翌日を明日といひ、其次を後日といふ也、大後日も同じ、此明後日を俗に明後々日といひ、さつてともいへり、もとまゝあさつてと呼べり、今日より第四日にあたる故也、しあ反さなるをもて、さつてともいふゆめり、全浙兵制には、後日をあさつて、大後日をまあさつてと譯す、

〔源氏物語明石三〕京よりも御むかへに人々参り、略あさてばかりになりて、れいのやうにいたうもふかさで、わたりたまへり、

〔榮花物語本十六〕けふあすの程にとなんときこえさすれば、あさて佛にいとよき日なり、略おいはうしのゐる所もはらはせ侍らん、わがおもとたちの物わらひ給ことはづかしの給はせて、いそぎかへらせ給ぬ、

〔和爾雅二〕兼日二併日 淹宿二間日一 連日 累日 積日 盈旬 彌旬 刻日

刻日二繼日一 越宿 信宿 幾冀 多日 屢日略 前日 往昔二往日一 曠昔二往日一 也、 昨者 日昨 日前 向日 曩日 嚮時 嚮者 昨之昨 日之前 遙日 近日 往日

往者二已過一 曩者 平日 日者二往日一 曩昔 嚮日二曩日一 乃者二師古云、猶一 〔書言字考節用集二〕累日二翰墨全書、一 他日二孟子章句、異日一 連日二日多日、貫且、積日二兼日、併日、淹宿、一 後日二向日、並同、一 曩昔二日增、一 近日二幾、一 先日二後日、一 數日

〔伊呂波字類抄〕朔二天象、一 朔二月一日也、

〔釋名〕朔二天、一 朔蘇也、月死復蘇生也、

〔月令廣義〕三月初一日、月朔、二日月會度爲朔、一

〔運步色葉集〕朔二日、一 生也、